



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.815



菱野下村獅子

- ❖内容 16 新年のご挨拶／自主事業報告ほか
- 18 ぼくとわたしの作品【小諸養護学校】ほか

- 19 人ひと／俳句・短歌
- 20 特集 小諸の敬老会
文化会館カレンダー／講座募集



「もういくつねるとお正月」と指折り数えて待つお正月のこと。正月飾りは、29日は「二重苦」、31日は「一夜飾りは運が悪い」ので飾らない方がよい。26〜28日もしくは30日に飾る。

大掃除、餅つき、門松飾りは、神様が降りて来るための印なので心をこめて準備する。「大晦日」!!新しい年を迎える!!「一年の計は元旦にあり」というように初詣、二年詣りとお正月の行事や風習は受け継がれている。年神様は、祖霊神、田の神、山の神、または子孫繁栄、五穀豊穡と深く健康や幸福を授ける。喜びと感謝の気持ち。

「一富士、二鷹、三茄子」と昔からいわれている元旦から2日目に見る夢のこと。「富士」は無事、「鷹」は高い「茄子」はことを成すといわれ、縁起の良い語路合わせである。良い夢を見てその年を幸せにと願う。1月15日は小正月。正月飾りの終りで、松飾り、しめ縄、書き初めなどを広場に持ち寄り、豊作祈願の意味を込めてどんと焼きで燃やす。焼いた団子や餅を食べると病気をしない。また燃やした書き初めの紙が天高く昇ると字が上手になるといわれる。また、神様も煙と共に天高く昇り、無病息災を願ってくれている。まだまだ行事は盛り沢山。イベントも続きお正月休みをゆっくり過ごすには、ゆめゆめのんびりしてはいられない一年のはじまり。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。
編集委員 倉内 さよ

